

令和4年8月25日
第八管区海上保安本部
海上保安学校

第八管区海上保安本部・海上保安学校 定例記者懇談会

- 1 日時
令和4年8月25日（木）午後2時00分から
- 2 場所
舞鶴港湾合同庁舎2階 第1会議室
- 3 発表事項
＜第八管区海上保安本部＞
 - ・夏季のマリンレジャー活動に伴う事故状況（速報）
- 4 連絡事項
＜第八管区海上保安本部＞
 - ・八管区初！民間大型船曳航救助訓練の実施について
 - ・令和4年8月4日からの福井県大雨にかかる対応について＜海上保安学校＞
 - ・海上保安学校卒業式の挙行について
- 5 業務説明
＜第八管区海上保安本部 海洋情報部＞
 - ・海図で使用されている記号について

令和4年9月業務予定

日	曜	業務内容	備考
継続			
1	木		上旬
2	金		
3	土		
4	日		
5	月		
6	火		
7	水		
8	木		
9	金		
10	土		
11	日		中旬
12	月		
13	火		
14	水		
15	木		
16	金		
17	土		
18	日		
19	月		
20	火		
21	水		下旬
22	木		
23	金		
24	土		
25	日	海上保安学校卒業式	
26	月		
27	火		
28	水		
29	木	第八管区海上保安本部・海上保安学校定例記者懇談会	
30	金		



【問合せ先】第八管区海上保安本部
交通部安全対策課長 牛崎 泰成
TEL 0773-76-4100 (内線 2640)

令和4年8月25日
第八管区海上保安本部

「夏季のマリンレジャー活動に伴う事故状況（速報）」

第八管区海上保安本部管内における夏季（7月～8月）マリンレジャー活動に伴う事故の状況は（8月22日現在）

- ・ 人身海難 51人、船舶海難 19隻
- ・ 人身海難のうち、遊泳中の事故が7割以上（37人）
- ・ 人身海難は前年同期間と比べ24人増加
- ・ 船舶海難は前年同期間と比べ2隻減少

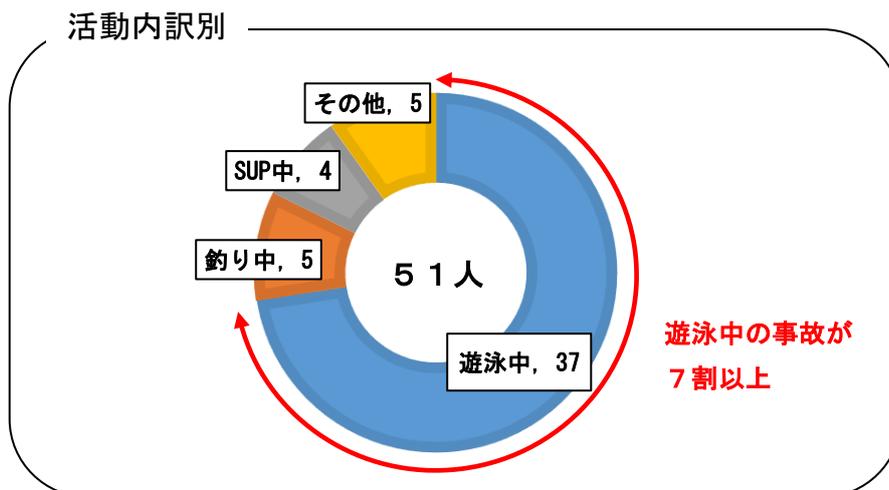
第八管区海上保安本部では発生した事故の状況を分析し、今後の事故防止対策に反映させていきます。

1 令和4年7月1日～8月22日の事故速報

マリンレジャー活動中の海難発生状況

- ・ 人身海難 51人（うち死亡・行方不明9人）
前年同期間 27人（うち死亡・行方不明4人）
- ・ 船舶海難 19隻（うち死亡・行方不明0人）
前年同期間 21隻（うち死亡・行方不明0人）

2 マリンレジャーに伴う人身海難の内訳



- ・ 活動内容別 遊泳中37人、釣り中5人、SUP中4人、ウェイクボード中2人、ボードセーリング中1人、サーフィン中1人、ウィングサーフィン中1人
- ・ 事故内容別 帰還不能28人、溺水12人、負傷9人、海中転落2人

【事件事例】(事故概要は次ページ記載)

- ・ 京都府の海水浴場で親がテント設営中、浮輪に乗った6歳の息子が流されているように感じ、救助に向かったところ自身の足がつかずパニックになり溺れた
- ・ 福井県の海水浴場で男性が溺れて死亡した
- ・ 福井県の海水浴場で女性がイルカに噛まれ、それを助けに向かった男性も噛まれ怪我を負った
- ・ 福井県の海岸で2名の男性がSUPに乗り、釣りに興じていたところ、風と波の影響により帰還不能となった

3 マリンレジャーに伴う船舶海難の内訳

- ・ 海難種類別 運航不能7隻、乗揚3隻、浸水3隻、転覆3隻、衝突2隻、その他1隻

【事件事例】(事故概要は次ページ記載)

- ・ ミニボートで航行中、風と波の影響により浸水し、転覆

4 事故発生状況から見る安全対策

- ・ 気象、海象の把握に努め、波等が高い場合は無理をしないようにしましょう
- ・ フロートや浮輪は流れ出すとあっという間です。波等が高い日や風の強い日は注意して使いましょう
- ・ お酒を飲んだら泳がないようにしましょう
- ・ 遊泳区域内であっても急に深くなる場所があることを覚えておきましょう
- ・ イルカに遭遇した場合は、決して近寄らず、海から出るようにしましょう
- ・ ミニボートに乗る際は、乗船者や積載物が片寄らないように配置し、船のバランスに注意しましょう

5 ウォーターセーフティガイドの活用

海上保安庁では、ウォーターアクティビティを誰もが安全に安心して楽しめるように事故防止のための情報（ウォーターセーフティガイド）を発信する総合情報サイトを開設しています。

ウォーターアクティビティを楽しむ際には、海に関する知識、利用する乗物の特性や装備、習得する技術などについて、十分に理解し準備したうえで海に出ることが大切です。

このウォーターセーフティガイドを活用頂き、安全にお楽しみください。



海水浴といった海辺でのレジャー活動を安全に楽しむための総合情報サイト
(アクティビティ別の必要となる知識など安全情報を提供しています。)



事故概要

●事故概要①（溺水：開設海水浴場）

発生日時 令和4年8月1日(月)
発生場所 京都府京丹後市所在の八丁浜海水浴場
事故者 42歳女性（京都府京都市市在住）
概要

事故者は、家族5人で同海水浴場を訪れ、砂浜でテントの設営を行っており、先に浮輪に乗って遊泳していた子供の様子を確認したところ、風により流されているように感じたため確保に向ったが、深みにはまりパニックとなって溺れたもの。

付近遊泳者により救助され、怪我はなかった。（事故時気象：南の風3m、波0.5m）



事故発生場所

●事故事例②（溺水：死亡：開設海水浴場）

発生日時 令和4年8月6日(土)
発生場所 福井県丹生郡所在の厨長須浜海水浴場
事故者 48歳男性（福井県丹生郡在住）
概要

事故者は同行者1人と同海水浴場を訪れ、お酒を3口ほど飲んだ後、水中眼鏡を着用し、遊泳区域の沖合に浮かぶフロートに向かって泳いでいった。

同行者は砂浜におり、事故者の様子を確認しようと海水浴場内を見渡すも見当たらず、付近遊泳客に尋ねるも発見に至らないことから、付近海の家に119番通報を求めたもの。

その後、事故者は消防により海底に沈んでいるのを発見されるも病院にて死亡が確認された。（事故時気象：南の風5m、波なし）



事故発生場所

●事故概要③（負傷：開設海水浴場）

発生日時 令和4年8月7日(日)
発生場所 福井県福井市所在の鮎川海水浴場
事故者 1：39歳女性（福井県福井市）
2：50歳男性（福井県坂井市）
概要

事故者1（39歳女性）は家族5名で同海水浴場を訪れ沖合15メートル付近の場所で泳いでいたところ、体に何かがつぶつかったため振り返るとイルカだったため、驚き逃げようとしたところ噛みつかれた。

2回ほど噛みつかれ、海中に引きずり込まれたため助けを求めたところ、浜辺にいた事故者2（50歳男性）とほか1人が救助に向かい、事故者1を救助したが、その際、事故者2も同様に噛みつかれたもの。

事故者らは救急車で病院に搬送され、事故者1は左手複数個所に擦過傷を負い治療を受け、事故者2は右手小指に咬傷を負い、傷を縫合する処置を受けた。

（事故時気象：西の風4m、波なし）



事故発生場所

●事故事例④（帰還不能：SUP）

発生日時 令和4年8月10日(水)
発生場所 福井県敦賀市立石沖北方約200メートル付近海上
事故者 1：29歳男性（滋賀県大津市在住）
2：29歳男性（兵庫県尼崎市在住）

概要

事故者2人は、釣りをを行うため1台のSUPに2人で乗り、立石漁港を出発したが、風が強くなり始めたため、帰還を試みるも波とうねりが強く出発場所まで戻れなくなったことから118番通報し救助要請したものの。

事故者2人は、巡視船えちぜんの搭載艇により救助され、怪我はなかった。（事故時気象：南東の風6m、波1m）



救助時の状況

●事故事例⑤（浸水・転覆：ミニボート）

発生日時 令和4年8月11日(木)
発生場所 福井県三方上中郡所在の神子沖
事故者 1：34歳男性（愛知県春日井市在住）
2：34歳男性（京都府田辺市在住）

概要

事故者2人は1艇のミニボートに乗込み、福井県三方上中郡若狭町神子の海岸を出航し、発生場所付近で釣りを行っていたが、風や波の影響により流されたことから、元の釣り位置に戻ろうと航行していたところ、波を乗り越えた際に海水が流入したため、船のバランスを崩し転覆したものの。

事故者2人は118番通報で救助要請を行い、小浜海上保安署からの出動要請により福井県水難救済会若狭町水難救難所所属の救助船2隻により救助され、怪我はなかった。

（事故時気象：南南東の風5m、波浪0.5m）



若狭町水難救難所救助船による救助状況



【問合せ先】第八管区海上保安本部
 交通部安全対策課長 牛崎 泰成
 TEL 0773-76-4100（内線 2640）

令和4年7月28日
 第八管区海上保安本部

「夏季マリンレジャー事故速報」 ～遊泳中の事故多発！波や流れに注意を～

本格的なマリンレジャーシーズンの到来に伴い、マリンレジャー活動による事故が頻発しています。

海上保安庁ではシーズン中、海浜パトロールの強化のほか、各種メディアやSNSを通じて安全啓発活動を行い、これら事故の防止に努めてまいります。

1 令和4年7月の事故速報（7月25日現在）

マリンレジャー活動中の海難発生状況

- ・ 人身海難 23人（うち死亡・行方不明4人）
 前年同月 9人（うち死亡・行方不明1人）
- ・ 船舶海難 5隻（うち死亡・行方不明0人）
 前年同月 14隻（うち死亡・行方不明0人）

① マリンレジャーに伴う人身海難

- ・ 人身海難は前年同月と比べ14人増
- ・ 海難の内訳は帰還不能14人、負傷3人、溺水5人、海中転落1人
- ・ 活動の内訳は遊泳中19人、釣り中2人、ウエイクボード中2人

【事件事例】（事故概要は次ページ記載）

- ・ 島根県の海岸で釣り中の男性が雷に打たれ死亡した
- ・ 島根県の海水浴場で13歳少年が仰向けで流されているのを監視員が発見した
- ・ 京都府の海水浴場で親の目の前で浮輪に乗った4歳の男児が流された
- ・ 鳥取県の砂浜で男性が溺れ、それを助けに向かった男性も流され溺れて死亡した
- ・ 島根県の河口付近海岸で高校生3人が深みにはまり、パニック状態で沖に流された
- ・ 島根県の海水浴場で20代男女7名が深みにはまり、パニック状態で沖に流された
- ・ 京都府の海岸においてウエイクボード中の男性が他の船とぶつかり大けがを負った

② マリンレジャーに伴う船舶海難

- ・ 船舶海難は前年同月と比べ9隻減
- ・ 内訳は運航不能が2隻、乗揚げ1隻、衝突1隻、その他（空気漏れ）1隻

【事件事例】（事故概要は次ページ記載）

- ・ ゴムボートで釣り中に、突如、船体の継ぎ目から空気が抜け、沈みだした

2 事故発生状況から見る安全対策

- ・ 気象、海象の把握に努め、波等が高い場合は無理をしないようにしましょう
- ・ フロートや浮輪は流れ出すとあっという間です。波等が高い日や風の強い日は注意して使いましょう
- ・ 監視員、ライフセーバー等のいる管理された海水浴場で泳ぐようにしましょう
- ・ 砂浜であっても急に深くなる場所があることを知っておきましょう
- ・ 水上オートバイでウエイクボードやトーイングチューブを曳く際は、後方に注意して、安全に曳くようにしましょう
- ・ ゴムボートの取り扱い（経年劣化、破れやすい）に注意しましょう

3 ウォーターセーフティガイドの活用

海上保安庁では、ウォーターアクティビティを誰もが安全委安心して楽しめるように事故防止のための情報（ウォーターセーフティガイド）を発信する総合情報サイトを開設しています。

ウォーターアクティビティを楽しむ際には、海に関する知識、利用する乗物の特性や装備、習得する技術などについて、十分に理解し準備したうえで海に出ることが大切です。

このウォーターセーフティガイドを活用頂き、安全にお楽しみください。



海水浴といった海辺でのレジャー活動を安全に楽しむための総合情報サイト
(アクティビティ別の必要となる知識など安全情報を提供しています。)



事故概要

●事故概要①（死亡：釣り中：雷）

発生日時 令和4年7月3日(日)
発生場所 島根県出雲市所在の中山港沖合の岩場
事故者 51歳男性（岡山県倉敷市在住）
概要

事故者は、島根県出雲市大社港沖合にある岩場において釣りをしていたところ、同日午後2時40分頃、天候悪化のため迎えに来た瀬渡船の船長が岩場付近の海上に心肺停止の状態で見つかる事故者を発見した。死因は落雷による全身雷撃傷と判断された。

当時、出雲市には雷注意報が発令。



沖合岩場の状況

●事故概要②（溺水：開設海水浴場）

発生日時 令和4年7月23日(土)
発生場所 島根県所在の国府海水浴場
事故者 13歳少年（島根県浜田市在住）
概要

事故者は家族4名で同海水浴場を訪れ、家族から離れて一人で泳いでいたところ、沖合30メートル付近まで仰向けで流されているのを監視員が発見し、駆け付けたライフセーバーにより救助された。

事故者は救助されるも意識不明の状態です。26日現在、入院中（事故時気象：北の風5m、波浪1m）



当時の海象状況

●事故事例③（帰還不能：開設海水浴場）

発生日時 令和4年7月17日(日)
発生場所 京丹後市所在の八丁浜海水浴場
事故者 4歳男児（京都府京都市在住）
概要

事故者は家族5名で同海水浴場を訪れ、浮き輪に乗った状態で父親と一緒に遊泳区域内にある突堤付近で遊んでいたところ、突風により沖へ流され帰還不能となった。

事故者は付近にいたサーファーにより救助され、怪我はなかった。

（事故時気象：西北西の風3m、波0.5m）



イメージ画像

●事故概要④（溺水：死亡：自然海岸）

発生日時 令和4年7月24日(日)
発生場所 鳥取県所在の弓ヶ浜海岸
事故者 40歳男性（奈良県奈良市）
67歳男性（40歳男性父親）
概要

事故者等は家族3名で同海岸を訪れていたもので、40歳男性が遊泳中に溺れ、流されるのを67歳父親がを見つけ、救助に向かったが共に波に流されたもの。

その後、消防により救助されるも67歳父親は死亡が確認された。なお、40歳男性は治療後帰宅した。（事故時気象：北東の風5m、波浪1m、うねり1.5m）

●**事故事例⑤（帰還不能：自然海岸）**

発生日時 令和4年7月24日(日)
発生場所 島根県益田市所在の高津川河口
事故者 地元高校生3名
概要

事故者等4名は遊泳目的で同川河口付近海岸を訪れ遊んでいたところ、うち3名が深みにはまりパニックとなり、次第に沖へ流されたもの。

1名は自力で帰浜し、2名は付近サーファーに救助された。

救助された2名は溺水吸引の所見があり、経過入院中であったところ、両名26日までに退院。（事故時気象：北東の風2m、波浪1m）



発生場所の状況

●**事故事例⑥（帰還不能：開設海水浴場）**

発生日時 令和4年7月23日(土)
発生場所 島根県浜田市所在の石見海浜公園海水浴場
事故者 20代男性4名、女性3名（広島市在住）
概要

事故者等は同海水浴場で遊泳していたところ、女性3名が深みにはまりパニックとなり、浮き輪に乗った状態で沖へ流されたことから男性4名が助けに向かい結果、7名が流されたもの。

その後、女性3名が付近SUPにより救助されたことから男性4名は自力で帰浜した。

7名に怪我等なし。

（事故時気象：北東の風2m、波浪1m）



発生場所

発生場所の状況

●**事故事例⑦（負傷：ウエイクボード）**

発生日時 令和4年7月18日(月)
発生場所 京都府京丹後市所在の久美浜湾内
事故者 32歳男性（兵庫県加古川市在住）
概要

事故者は、水上オートバイで曳航されるウエイクボードで遊んでいたところ、バランスを崩して転倒し、ロープを離れた際の反動で、付近停泊中の水上オートバイに衝突した。

病院にて診断の結果、左腰椎横突起骨折（全治1ヶ月）であった。



使用ウエイクボード

●**事故事例⑧（空気漏れ：ミニボート）**

発生日時 令和4年7月2日(土)
発生場所 福井県高浜町所在の音海海岸
事故者 51歳男性（京都府京都市在住）
概要

事故者はゴムボートに乗り午前5時30分頃から発生場所付近にて釣りをしていたが、午前11時30分頃、突如、船体の継ぎ目から空気が抜ける音が聞こえたため、急いで陸向け航行し岩場の上陸して救助を求めた。



（参考）ゴムボートに穴が空いている状況

八管区初！民間大型船曳航救助訓練の実施について

第八管区海上保安本部では、管区初となる民間大型船に対する曳航救助訓練を実施予定です。

本訓練を通じ、海難船舶の漂流、陸岸への漂着防止措置にかかる対応能力の強化を図ります。

1 実施日時・場所

日時 令和4年9月上旬 午前10時から午後1時までの間

場所 若狭湾沖合（下図「訓練海域」参照）

2 参加機関

（1）第八管区海上保安本部

舞鶴海上保安部巡視船だいせん（搭載機MH914含む）

舞鶴海上保安部巡視艇1隻

美保航空基地 機動救難士

（2）川崎汽船株式会社（運航会社）

ケーライン ローローバルクシップ マネージメント株式会社（管理会社）

鉱石運搬船 MAIZURU BENTEN（総トン数：48,217トン）

3 訓練概要

民間大型船が航行不能となった場合を想定して、巡視船だいせんによる曳航救助訓練を実施することにより、応急的な海難船舶の漂流、陸岸への漂着防止措置にかかる手法を確認・検証するもの。



○訓練海域（図中のA海域またはB海域）

※ 当日の気象条件等により、A海域またはB海域のいずれかでの訓練実施となります。

【当日のスケジュール】（A海域で実施の場合）

08:30 離岸、出港

09:30 訓練海域到着、訓練準備

10:00 曳航準備

11:30 曳航開始

12:30 曳航終了

13:00 訓練終了

15:00 入港、着岸

【B海域で実施の場合】

出港 07:30

※ 訓練の進行状況または運航状況により、スケジュールの一部もしくは全部が変更となる場合があります。

海上保安学校連絡事項

海上保安学校卒業式の挙行について

日時 令和4年9月25日（土）

船舶運航システム課程	航海コース第60期	88名（8名）
	機関コース第60期	44名（5名）
	主計コース第60期	67名（20名）
	合計	199名（33名）

※（）は女子学生を示す内数



卒業式の状況(令和3年10月)



卒業生答辞(令和3年10月)